



## ■インフルエンザ対策を!

本格的なインフルエンザの季節到来とともに、学校・学級閉鎖などのニュースも増えてきました。対人接触の多い私たちの事業において、インフルエンザ対策は運営リスク軽減に直結します。

### 1. 対応マニュアルの作成

手洗いうがいの徹底、従業員への毎朝夕の検温の義務付け・報告、発症時の勤務規定など、内部対応マニュアルを作成しましょう。被害拡大を防ぐことが出来ます。

### 2. お客様への対応

施設入り口に消毒液を設置するなど、お客様への意識喚起をしましょう。また、従業員発症時や近隣学校閉鎖時の施設の対応について開示・公開をしましょう。

### 3. BCP (事業継続計画) の策定

新型インフルエンザの流行は事業運営に多大な影響を及ぼす恐れがあります。各事業所の事業継続計画 (BCP) を策定し、対応策を決めておきましょう。

参考サイト(中小企業庁より)

<http://www.chusho.meti.go.jp/bcp/influenza/index.html>

## ■安全管理体制構築および運用について

安全管理において重要なことは、まずその体制構築です。また体制が崩れることなく、継続的に稼働しなければ意味がありません。多くの人間が携わるクラブ・スクール運営、異動や退職、入社による入れ替わりも少なくありません。

安全管理体制維持のために、各種チェックシートを作成し、確実に稼働させるためのシステム化・マニュアル化が有効です。以前に配布した安全管理ツール、また今後配信させていただくツールとあわせ、ぜひ活用いただきたいと思います。

### ～導入時～

#### 1. 安全管理セルフチェックシート

自施設の安全管理体制の実態を確認します。

#### 2. 安全管理マニュアル

施設・運営形態にあわせたマニュアルを作成します。

#### 3. 応急手当 (RICE) 掲示表

常に見える場所に掲示します。

#### 4. 救急連絡表兼近隣病院連絡先一覧

救急受付や診療時間、診療科など、近隣病院情報をすぐに見える場所に掲示します。

#### 5. 事故対応のフロー表

事故発生時の連絡手順をフロー表にて掲示します。

(1～4、当協会HPにてダウンロード可)

### ～運用期～

#### 1. 始業時施設チェックシート

施設に不備や危険箇所が無いかをチェックします。

#### 2. 営業時チェックシート

営業時間内、決まった時間に決められた箇所の不備などをチェックします。

### 3. 5S改善シート

毎日のチェックとは別の視点で、施設チェックをします。ミスや事故の防止だけでなく、仕事の効率化にも有効なツールです。

(配布済み・HPダウンロードできます)

### 4. レッスン日報

すべてのレッスンを日報形式で記録、保管します。

安全管理に関連するコメントも記入します。

始めることは簡単ですが、継続は難しいものです。  
しかし、安全管理に終わりはありません。  
維持・継続を推進しましょう!

## 気をつけましょう!この季節

ひと雨ごとに冬に近づき、気温が下がるこの季節は怪我の発生率も上がります。

\*春～秋に入会したお客様には「初めての冬」です

個別に寒さ対策のアドバイスをしましょう。

\*適切な服装のアドバイスをしましょう

コーチの服装が見本になります。

\*準備体操は念入りに

ウォーミングアップドリルを丁寧に、徐々に動きを増やしましょう。

\*気温差を意識

空調の効いたインドアコートでも、来退場は寒い屋外です。ゆっくり体を慣らしましょう。

\*コートサーフェースに注意

夜露、朝露、結露などで滑らないか確認。

整備対応、ドリルの工夫、状況によっては中止も。

\*ドリルの工夫を

気温の低い日、多人数の場合のドリルをつくり、マニュアル化、コーチに徹底しましょう。ラリーの待ち時間にストレッチをすすめるなども有効です。

\*風対策

強風時はレッスン内容、ドリルの変更をしましょう。

\*受講クラスの誘導

気温の低いナイタークラスのお客様には、土日昼間のクラスへの振替をすすめてみましょう。

## 知っていますか?

万が一の事故発生時、パニックにならずに適切な応急処置をするために、応急処置について学んでおく必要があります。

消防署では、応急救護講習や救命講習会など、多くの講習プログラムを用意しており、受講者の人数が揃えば、事業所への出張講習を実施していただくことも可能です。

より確かな体制づくりのために、定期的な実施をおすすめします。

詳しくは最寄りの消防署にお問い合わせください。